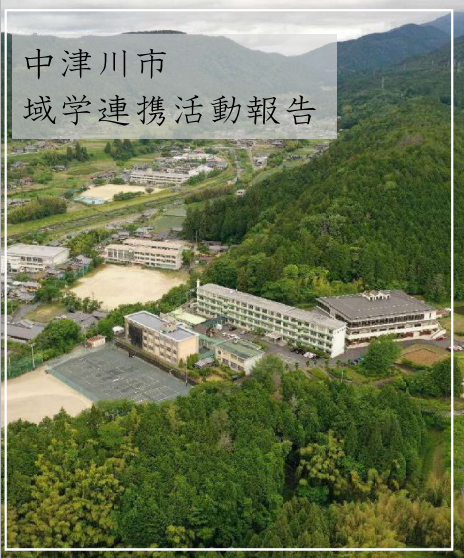


中津川市
域学連携活動報告



地域連携活動
と
ゼミ探究学習

坂下高校
地域探究科 2 年生

令和 5 年度地域探究科
「総合的な探究の時間」

地域課題 × ゼミ探究

今年度の探究テーマ(一部紹介)

高齢者の
健康増進

坂下飲食店
マップ作製

阿寺断層を
スイーツでPR

北恵那鉄道
廃線ウォーク

子どもの貧困
と子ども食堂

苗木城の
観光推進

地歌舞伎と
恵那文楽PR

咲明日高校
マルシェ運営

ウォーキング
マップの作製

2023
年度

SDGs
QUEST
みらい甲子園



2023年度



新しいカタチの防災訓練

～楽しみながら防災を体験しよう！～

チーム名：緋(セン)

1. 探究テーマとそれを選んだ理由



< 探究テーマ >

TRPG(テーブルトーク
ロールプレイングゲーム)で
防災をさらに身近なものにしよう！

【対象ゴール】



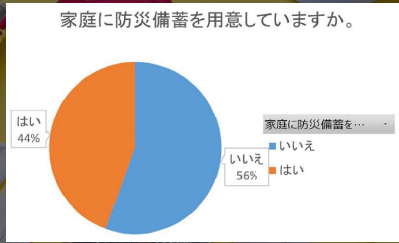
1. 探究テーマとそれを選んだ理由



<そのテーマを選んだ理由>

- ①当初のテーマ
「地域の立地や自然災害に関する防災について」
- ②坂下地区にて防災に関する意識調査を実施し、
地域の人々の防災意識を把握

「はい」が44%
「いいえ」が56%
↓
防災備蓄を備えている人
が少ない!!!

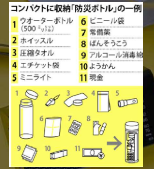
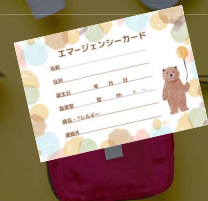


1. 探究テーマとそれを選んだ理由



<そのテーマを選んだ理由>

- ③地域の防災意識を高めるため、
防災ポトル体験を企画し、
地元の文化祭や咲明日高校マルシェにて実行



結果：思ったよりも反響が悪く、
意識の高い方しか足を止めなかった。

1. 探究テーマとそれを選んだ理由



<そのテーマを選んだ理由>

- ④この結果より、
『まず地域の人々に防災について
興味を持ってもらうきっかけづくりをしよう』

ゲームで防災を楽しむことが
できたらよいのではないかと考えた。

2. 「SDGsアクション」アイデアと「目標」



アイデア：

災害TRPG

TRPGとは“Table Talk Role-Playing Game (テーブル・トーク・ロール・プレイング・ゲーム)”の略称。別名を「会話型RPG」とも言い、ゲーム機などのコンピュータを使わずに、紙や鉛筆、サイコロなどの道具と人間同士の会話のみを用いて、ルールブックに記載されたルールに従って遊ぶ“対話型”のゲームのことである。

参考文献：ビクシブ百科事典

2. 「SDGsアクション」アイデアと「目標」



アイデア：

※災害TRPG シナリオ

この日本は地理的な位置や地形、気象などの自然的条件から災害が発生しやすく、災害大国と呼ばれている。過去には阪神淡路大震災や東日本大震災などの多くの死者・行方不明者を出すような地震があり、これらにおいては南海トラフ地震や都心直下型地震といういつ起こるのか皆目見当もつかないような災害が起こるとされている現状さえある。

さて、君は突然地震が起こったらどうする？

ある者は逃げ惑い、またある者は避難所へと適切に行動し、またある者は過剰な承認欲求によってスマホを構え、またある者は災害時特有のバイアスにかかり、逃げ遅れてしまうだろう…

— さあ、君はどう行動するんだい？ —

2. 「SDGsアクション」アイデアと「目標」



【目標】

防災を対話型ゲームで楽しみ、
より身近なものにしたい。

3. 「SDGsアクション」を広める方法



- ① TRPGサイトに掲載し、全国でも使用可能にする
- ② TRPGのルールを変えてオリジナルのルールを作り、簡単なルールすることで老若男女でも分かりやすいゲームにする
例) 自らをキャラクターと踏まえてキャラクターシートを不要にする
7以上のサイコロを使わないルールに変更を行う など…
- ③ プリント式も可能にして印刷物とサイコロがあるだけで体験できるTRPGにすることでどんな場所でも行えるようにする
- ④ 市役所の防災課や地域の防災士と連携し、防災の日や自治体のイベント、また地域の小中学校でこのTRPGを使用してもらう



4. 「SDGsアクション」が広がるとどう変わるのか



- ・社会全体、主に若者を中心に、災害時においてやるべきであろうことを自ら発信したり、災害がいきなり起こったとしてもシミュレーションを行ったことで冷静に対処をしたりすることができる。
- ・SDGsにおける具体的なゴール目標の観点から「気候に関する災害や自然災害が起きたときに、対応したり立ち直ったりできるような力をすべての国でそなえる」につなげることが出来ると考えられる。

5. 探究学習を通じての心の変容



- ・元々行っていた探究の失敗を活かして、別の探究テーマにシフトチェンジできたことが良かった。
- ・TRPGを主軸とした学習を行うなかで「ゲームで防災について学ぶことができるのか?」「老若男女が理解して楽しみながら交流できるのか?」といった不安があった。
- ・学習を進めていくうちに、こうしたら改善できるのではないかとチーム内で話し合ってお互いが補っていけるように学習ができた。

誰もが新鮮でおいしい野菜・果物が
手に入る環境作り

チーム名：ベジ食ぶる

地産地消とは…

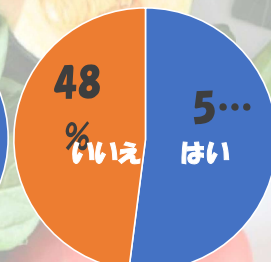
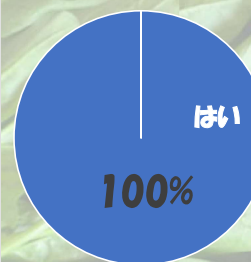
地域で生産されたものを、その地域で生産すること。



<アンケート結果（地産地消を意識しているか）>

生産者

消費者



消費者はあまり意識していない

<今までの取り組み>

収穫体験



販売補助



販売促進



<1年間取り組んでみて>

あまり成果が感じられなかった

原因

たべとるマルシェに足を運ぶ人は地産地消への意識が高く効果が薄い。

今後

地産地消への意識が薄い人に対してアプローチする必要がある。

この問題を解決するために

『親子で参加できる農業体験の開催』

<農業体験の内容>

1. 地元野菜・果物を植える、育てる体験



2. 収穫体験

3. 地元野菜を使った料理教室



1. 子ども⇒小学校に行き、チラシを配布する
親世代⇒SNSやポスターを使う

各世代にあわせた宣伝方法で、より多くの人に知ってもらう

2. シャトルバス等の移動手段の確保

移動手段がない家庭でも手軽に参加できるよう整備する

3. 農家さん、地元飲食店に協力依頼

田畑を使わせていただける農家さん、料理を教えてください
飲食店を募集する

中津川市、恵那市で活動している方

<恵那市役所 農政課>

農政課の取り組み

- ・耕作放棄地の解消
- ・もうかる農業の実践（産地化）
- ・食と農の連携強化



『地元農産物の利用促進』

「たべとる」って？

- ・農産物を探って（収穫して）食べる。
➡ 農と食のつながり
- ・食べて、栄養を探る（摂取する）。
➡ 食で命をつなぐ
- ・相手のことを気にかける東農地方の方言「たべとる？」 ➡ 思いやり

<831企画>

なかかき農園

こぎと農園

水野園芸



学校や行政、いろんな団体や飲食店さんと協力し農業が地域で輝きを増すような活動を目指している。



農業体験をきっかけに、地元野菜のおいしさや良さに気が付く

たくさん買ってもらえる

収益性がupする

農家さんが増える

地元のおいしい野菜が増える

誰もがおいしい野菜が手に入る!!

<探究学習を通じての心の変容>

・ボランティアやマルシェに参加したことを通して、地域の人と協力して、地産地消についてもっと知ることができたし、いい経験になった。

- ・自分たちの地域には思っていたより多くのおいしい野菜があって農家さんの話を聞いて地元野菜について詳しい知識を得ることができた。
- ・実際にトマトの収穫をしたり、売り場で野菜を売る手伝いを通して自信につながった。

